

串木野中学校家庭教育学級 出前講座

令和3年 12月 10日(金) 9:30~11:30

【講話】

参加者 15名 (男性1名/女性14名)

「がんばりすぎない介護を応援します」

いちき串木野市医師会 在宅医療・介護連携推進事業 コーディネーター 南新 敦子

いちき串木野市の医療機関や介護の関係する機関が協力して、入院した患者さんが安心して自宅生活に戻るための準備をして退院ができるような取組を進めています。ご家族の介護負担がすこしでも軽くできるようにサポートしていく相談も受けています。介護度が高い患者さんや医療が必要な時でも、訪問看護等を利用しながら自宅生活を続けられるようサポートしていきます。家族や、ご本人の想いに沿って在宅での生活を希望され退院された方の実例を聞いて在宅支援のイメージを知っていただきたいと思います。これからはご本人や家族の想いに沿った支援ができるよう医療も介護も連携を取って進めています。ご本人が自分の想いを伝える為のメッセージを残しておく手段としてマイライフノートをお勧めしています。

人生会議について:アドバンスケアプランニングと言われACPと称されています。

その人が最期まで尊厳を持った生き方を実践することを大きな目的とする。身近な人で行う話し合いです。その人が望む最期を迎えられたことで残された家族の心も満たされる

もしもの時を元気なうちに話し合ったり、聞いておくことも大事なこともしてません。



参加者の声

- ・高齢の母親を思い今日の講話を聴きました。
- ・聴くまでは不安がありましたがすごく安心しました。
- ・分かりやすい説明でした。
- ・家族が努力して介護していることを知り、周囲のサポートの重要性もよくわかりました。

前年度に引き続き串木野中学校で若い世代の皆様にお話を聴いて頂きました。

介護にはまだ遠い年代の方々でしたが熱心に聴いて頂きました。アンケートでは参考になったと皆さん回答していただきました。実際に自宅で過ごしていきたいが不安との解答は6割強ありました。

家族や、知り合いにもあげたいと、マイライフノートを複数ご希望される方もありました。

次年度も継続し講話を行い、若い世代の方々に聴いて頂ける機会が増えていけたらと思います。